

令和7年度 指定管理業務 事業評価表

1. 評価対象施設

公の施設の名称	四国中央市市民文化ホール
施設所管課	地域振興部まちおこし課
指定管理者名	NPO法人四国中央市公共施設管理運営センター
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
	2年目

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
①サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し計画的に研修等を実施している。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	A	A
		外部委託業者に対して協定書等を遵守させている。	A	A
	法令順守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止策を講じている。	A	A
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A
		緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。	A	A
	《①の総括》		A	A
	指定管理者の自己評価	協定書や業務仕様書に基づき、概ね適切に業務が履行できた。 令和7年度は、令和6年度の四国中央市発足20周年記念事業の受託事業が無くなることから、利用者数が過去最高となった昨年から大幅に減少しないよう、事業費を増額し自主事業等を行った。参加者からも概ね高評価を得ることができ、利用者数も微減に止まった。職員については、市の職員が1名減となったことから、年度途中から新たに1名職員を採用し、引き続き8名体制で管理運営を行った。また、避難訓練や防災訓練を職員全員参加で定期的の実施した。職員研修として、文化庁委託事業の舞台技術研修会を実施したが、引き続き職員のスキルアップに繋がるような研修を取り入れていきたい。		
	施設所管課の評価	法令を遵守し、協定書、業務仕様書及び年度事業計画に基づき適正に業務を遂行していた。会館運営の中で、事故等緊急時における迅速な対応や、市への報告が適正に行われている点は評価できる。 会館運営をしながらの研修会等への参加は、勤務体制などの面から難しい面もあるが、引き続き、舞台技術研修会のような各種研修に参加し、職員の業務スキルの向上に努めていただきたい。		

事業評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A
		施設の目的に添った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
	地域住民等との連携	地域や地域住民との連携を深め、協働による事業展開がされている	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行っている。	A	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	A
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	A
	苦情対応等	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
		要望、苦情等を整理し、遅滞なく市に報告している。	A	A
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	管理目標	設定目標に対する結果は妥当である。	A	A
		設定目標に対する取組は適切である。	A	A
	《②の総括》		A	A
	指定管理者の自己評価	令和6年度から事業が減少しないよう取り組んだことなどから、利用者数が昨年に続き10万人を超え、106,169人の利用者数であった。 昨年に引き続き、事業実施に向けての取り組みや、施設予約や日々の諸室点検、修繕など施設管理を適切に行うことができた。 また、普段から丁寧な接遇等を心がけていたことなどから、全体を通して概ね良好に業務を遂行することできた。ただ、一部苦情等もあったことから、研修などを行い改善を図っていきたい。 会館事業については、自主事業や共催事業を昨年に引き続き適宜開催することができた。事業ごとに実施しているアンケート調査でも、高い評価を得ることができた。今後は、利用者数の増加や施設の充実を図るため、これまで以上に、魅力ある事業を展開し、併せてホームページやSNS等の広報活動にも積極的に取り組んでいきたい。		
	施設所管課の評価	さまざまな事業展開により、昨年度に引き続き10万人を超える利用者数を記録したことは評価できる。利用者からの満足度も引き続き好評を維持しているので、引き続きホールの情報発信や、魅力的なイベントの実施に努めていただきたい。		

事業評価表

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え適切に経理事務を行っている。	A	A
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
	《③の総括》		A	A
	指定管理者の自己評価	自主事業等の実施に際し、文化庁の助成や財団の派遣助成を受けるなど、一部経費縮減を図ることができた。会館の使用料収入は増加したが、その一方で主催事業等の入場料収入が、想定より少なかった事業等もあり、予算見込み金額より下回る結果となった。支出においては、近年の人件費の上昇や物価高騰により、管理等にかかる固定費の支出増加が避けられず、結果的に赤字収支となり、内部留保財源により調整を図ることとなった。予算執行においては、概ね適切に経理事務を行うことができた。		
	施設所管課の評価	予算の執行は、適正になされており、会計事務も適正に処理されている。 また、助成金を積極的に活用し、経費削減に取り組む姿勢は評価する。引き続き、経費削減に努め、安定的な会館運営を行っていただきたい。		
総合評価		①②③を合わせた総合評価	A	A
所見 (成果・課題等)		【自己評価】 令和7年度は、令和6年度に引き続き利用者数が10万人を超える結果となったが、目標の12万人には届かなかった。 管理運営業務については、概ね適切に行うことができた。市職員が1名減となったが、迅速に1名職員を採用できたことから、昨年同様の事業実施やアウトリーチ事業（おでかけしこちゅ～ホール事業等）にも対応することができた。適切な管理運営を行うためにも、次年度も職員8名体制を維持していきたいと考えている。 また、利用者数の更なる増加を目指し、魅力ある事業展開を行うため、適切な事業費を確保し、事業の質や量の低下をまねかないように工夫して取り組んでいく必要がある。 法人の組織体制においては、会員の新規勧誘を行い、昨年度に続き世代交代を図ることができた。次年度においても、新たな会員獲得とともに、世代交代を図っていききたいと考えている。 法人の運営費については、近年の人件費の上昇や物価高騰に伴い、人件費や委託費等の管理などにかかる固定費が大幅に増加してきており、管理運営業務に一定の影響が出てきている。今後は、法人の適切な運営を行っていくために、経費縮減を図るとともに、年度協定等について、市とも協議を行っていく必要がある。		
		【所管評価】 令和7年度は、指定管理第2期の2年目として、人件費の上昇や物価高騰の中、適正な会館運営に努め、数多くのイベントを展開された。その結果、昨年度に引き続き、10万人の利用者数を記録し、市内外の方が多く来館し、文化交流の拠点施設としての役割を果たすことができた。人件費の上昇や物価高騰の課題はあるが、既存事業を継続しつつ、新しい試みを取り入れ、引き続き利用者に何度も足を運んでもらえる会館運営を期待する。		

事業評価表

事業評価表【補足資料】

1.利用状況

項目	7年度計画A	7年度実績B	対比B-A、B/A	前年実績C	対比B-C、B/C	備考
開館日数	307	307	0	309	-2	
施設利用者数	110,000	106,169	-3,831	111,465	-5,296	
施設稼働率	100%	100.7%	0.7%	99.4%	1.3%	

2.管理目標

活動指標	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		備考
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
20周年記念事業開催件数	15	19	-	-	-	-	-	-	-	-	
自主事業開催件数	20	20	20	20	-	-	-	-	-	-	

成果指標	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		備考
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
施設利用者数	120,000	111,465	120,000	106,169	-	-	-	-	-	-	
施設利用者の満足度	90%	100%	90%	100%	-	-	-	-	-	-	

3.収支状況

区 分	6年度決算	7年度決算	8年度決算	9年度決算	10年度決算	備考
収入計	177,638,195	157,679,571				
指定管理料	124,913,000	125,926,000				
利用料収入	12,144,440	13,860,800				
自主事業収入	11,441,587	16,927,195				
その他	29,139,168	965,576				
支出計	174,098,131	160,726,889				
指定事業費	145,142,176	120,751,524				
人件費	23,993,214	28,410,964				
再委託料	63,000,019	66,596,957				
その他経費	58,148,943	25,743,603				
自主事業費等	28,955,955	39,975,365				
事業収支	3,540,064	-3,047,318				
利用料金比率	6.8%	8.8%				
人件費率	13.8%	17.7%				
再委託費比率	36.2%	41.4%				

※令和6年度 四国中央市発足20周年受託事業費を含む。

<評価基準>

区分	項目評価	基準
評価基準	S（優良）	事業計画を上回っている 期待する水準を上回っている 達成度イメージ：110%以上
	A（良好）	ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ：90%以上～110%未満
	B （一部良好でない）	一部を除き、事業計画どおりである 一部を除き、期待する水準どおりである 達成度イメージ：70%以上～90%未満
	C（良好でない）	事業計画を大幅に下回っている 期待する水準に達していない 達成度イメージ：70%未満
総括	S（優良）	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数以上である
	A（良好）	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である
	B （一部良好でない）	評価基準がすべてB以上である
	C（良好でない）	評価基準にCが含まれている
総合評価	S（優良）	評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数以上である
	A（良好）	評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である
	B （一部良好でない）	評価基準がすべてB以上である
	C（良好でない）	評価基準にCが含まれている